

夜の公園

日頃通り慣れた公園でも、夜に行くことはめったにありません。ライトの灯り一つで見る光景は昼間とはまったく異なり、新しい発見に満ちています。夜行性の動物が見られるのも大きな魅力です。しかし、観察には危険を伴うので、長袖、長ズボン、長靴などの準備は必要です。



コナラの樹液には昼間のサトキマダラヒカゲに替わってキシタバがやって来た。幼虫はフジを食べる。



カラスヨトウは全身黒色。幼虫はヤブガラシなどを食べる。



コクワガタは昼間木の穴に隠れていることが多いが、夜間は活発に活動する。



ヒモミノガの一種の幼虫は8cmほどのひも状の巣を作る。昼間でもいるのだが、ライトの中では巣のわずかな動きも目に留まりやすい。

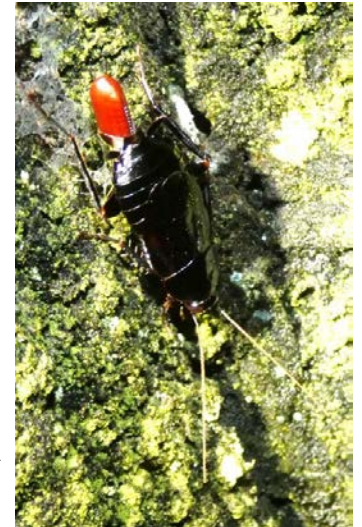


ニイニイゼミは木の低い位置で羽化する。体はほぼ真横に出ている。翅にはすでに色がついている。



ユミアシオオゴミムシダマシは胸部に縦溝がある。

ヤマトゴキブリの雌は短翅型。アズキ色のものは卵塊。



昼間は見かけないウリ坊も姿を現す。イノシシは危険なので近づいてはいけない。



ヤマシロオニグモは日没後に円網を張り、中心で獲物を待つ。

ベニスズメがホバリングをしながら樹液を吸いに来た。翅は高速で動かしている。幼虫はマツヨイグサ類やホウセンカを食べる。